

1月11日(月)

2021年(令和3年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号  
 〒530-8251 電話(06)6346-1551  
 毎日新聞大阪本社

歩みつけて  
創業100年。

HARUTA SHOES  
www.haruta-shoes.co.jp

NEWSLINE (1)

成人式 中止でも笑顔で 21



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地方でも成人式の延期や中止が相次ぐ。「写真だけでも」と振り袖姿で記念撮影する新成人の姿も一松山市で、木島涼子撮影。

バイデン政権の外交戦略 3-6

RESIDE

今月20日に発足するバイデン政権は同盟関係の立て直しなどの外交課題を掲げていく。

検証 | 老朽原発 拭えぬ不安 2  
多数休場 異例の初場所 17

# 搬送困難 1カ月で5割増

## 年末年始 コロナで病床逼迫

新型コロナウイルスの感染が再び拡大する中、119番で救急搬送を要請した患者の受け入れ医療機関にも断られるなどした「搬送困難事例」が、年末年始は1カ月前と比べて5割以上も増えている。総務省消防庁への取材で明らかになった。新型コロナウイルスの患者で、病床が埋まり、救急患者を受け入れる医療機関が減っていることが原因とみられる。

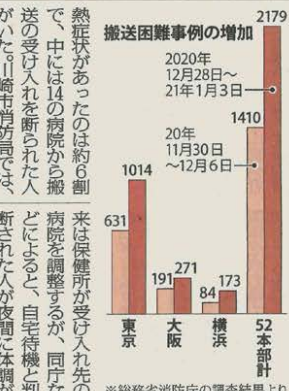
搬送困難事例は、医療機関が受け入れを拒否するケースをいう。同庁が3回に断られ、現場に滞り、対象を調べると、昨年12月

28日～1月3日の1週間で計2179件と、1カ月前の1014件で、1カ月前の631件より61%の増加。大阪消防局では711件で42%、横浜市消防局では173件で106%それぞれ増えている。

た。2179件のうち、東京消防庁の管内は約半分の1014件で、1カ月前の631件より61%の増加。大阪消防局では711件で42%、横浜市消防局では173件で106%それぞれ増えている。

搬送困難事例は、医療機関が受け入れを拒否するケースをいう。同庁が3回に断られ、現場に滞り、対象を調べると、昨年12月28日～1月3日の1週間で計2179件と、1カ月前の1014件で、1カ月前の631件より61%の増加。大阪消防局では711件で42%、横浜市消防局では173件で106%それぞれ増えている。

今も昔も愛される Toyroyal



お天気

最高 予想気温(℃)  
最低 降水確率(%)

お天気 マド予報

地域	最高気温(℃)	最低気温(℃)	降水確率(%)
きょう	6	9	12
あす	15	18	21
24(水)	20	24	30
12(火)	20	24	30
大阪	10	13	10
京都	10	13	10
舞鶴	10	13	10
神戸	10	13	10

熱症状があったのは約6割で、中には14の病院が搬送の受け入れを断られた。市内で搬送先が見当たらず、同市から救急車約1時間かかる相模原市の病院に受け入れを要請したケースもあった。

年末年始の救急搬送困難事例が前年同期と比べても45%増えていることから、総務省消防庁では、新型コロナウイルス患者の対応に追われ、病院が連日医療に手が回らなくなったことが主な理由と分析。「緊急に必要とする感染者の急増に伴い、医療提供体制が逼迫した」との証言もある。新型コロナウイルスと診断された場合、本

来は保健所が受け入れ先の病院を調整するが、同庁などによると、自宅待機と判断された人が夜間に体調が悪化し、救急搬送されるケースもあったという。

在宅医療に取り組み長尾クリニック(兵庫県姫路市)の長尾和宏院長によると、1月初旬に抗原検査で新型コロナウイルス陽性と診断され、自宅待機になった兵庫県内の60代男性は、夜に39度の熱と呼吸器症状が出た。男性の妻が保健所に電話すると、「救急車を呼んで入院できる病院を探してください」と言われたという。長尾氏は「感染者の急増で保健所が対応しきれず、救急間がかかるようになった」と話した。【石田泰洋子】